

2009, 10, 1 (木)

徳島新聞

徳島大学学長・香川候補

「教養課程を再構築」

他大学と連携強化も
信・抱負 所語



抱負を語る香川徳島大学病院長＝同大常三島
キャンパス

徳島大学の次期学長候補の「所信・抱負を聴く会」が30日、同大常三島と蔵本の両キャンパスで

人材育成の現状について「企業が求める能力と大学が養成する人材に差がある」と指摘。学生が学びたいものや実学を

あり、教職員ら計約230人が耳を傾けた。候補者は香川征徳島大学病院長(64)人で、国内外の大学との連携の強化や教養課程の見直しなどの方針を示した。
香川院長は、国立大学法人化2期目(2010～15年)に向け「大学の統廃合なども考えられ、取り巻く環境は厳しい。教育や研究の個性を高め、存在感のある徳島大学を実現したい」と抱負を述べた。

中心に教養課程を再構築。また、他大学との統合の「流などを行う」「連携・連携し、社会で活躍する人材の可能性を念頭に、国内外の大学と教員や学生の交流を明らかにした。」「合大学院」を推進する考